

平成30年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おけるKPI
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値		
1	栃木市中小企業・小規模企業の『稼ぐ力』再生計画 (H28～H30年度)	中小企業・小規模企業の総合支援プロジェクト	市内中小企業・小規模企業の持続的発展とともに、意欲ある事業者の成長を促すため、事業者の自助努力と共に、官民が一体となって各種支援策を展開することで、事業者を地域全体で育て、支援していくことを目指す。	① 新規創業者数	10 件増	H30年度	6件増	達成状況及び今後の取組方針	
					20 件増	H28～H30	15件増		
				② 市内中小企業・小規模企業法人税割額	18,000 千円増	H30年度	24,681千円増		
			29,000 千円増	H28～H30	90,924千円減				
		③							
	活用交付金	平成30年度取組							
	地方創生推進交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援としてビジネスプランコンテストや創業機運の向上を目的とした講演会を開催した。 ・経営支援として産業財産権の取得費補助を行った。 ・就労支援として中高年や大卒者を対象とした面接会や就活フェスを開催した。 ・栃木市中小企業・小規模企業振興審議会を開催し、ビジョンに掲げる具体的な取組状況の検証、総合支援センターの設置について検討を行った。 	④						
			⑤						
2	小江戸・栃木市の新名物「とちぎ江戸料理」を活用した観光まちづくり再生計画 (H29～R元年度)	小江戸・栃木市の新名物「とちぎ江戸料理」を活用した観光まちづくりと誘客促進プロジェクト	「とちぎ江戸料理」を本市の名物として市民に定着させ、国内外から観光客を誘致するために、各種事業を実施することで、本市での滞在時間や観光消費額を増加させるとともに、小江戸として観光まちづくりを推進している本市における相乗効果での誘客促進を図るとともに、交流人口の増加を目指す。	① 観光消費額	75 円増	H30年度	100円減	達成状況及び今後の取組方針	
					225 円増	H29～R元	846円増		
				② 観光客入込数	250,000 人増	H30年度	364,449人増		
			450,000 人増	H29～R元	318,674人増				
		③ 外国人宿泊者数	300 人増	H30年度	309人増				
	活用交付金	平成30年度取組							
	地方創生推進交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・本デスティネーションキャンペーンにあわせて、JRとコラボレーションし駅弁の開発・販売を行った。 ・また、事業PRのために広報誌「めっけ」を年2回発行。 ・その他、各イベントにおいて江戸料理の試食・販売等のPR活動を行った。 	④						
			⑤						

新規創業者数については、新規創業を希望するビジネスプランコンテスト受賞者のほとんどが創業に至ったが、目標値には未達であった。
平成30年度の市内中小企業・小規模企業法人市民税法人税割額については、目標値を大きく上回った。
今後も継続してビジネスプランコンテスト等の創業支援により新規創業者の増を目指すとともに、新規創業時の支援にとどまることなく、関係支援機関との連携により、経営支援、就労支援等を行い、企業の稼ぐ力の強化を図る。

観光消費額の指標値は未達ではあるが、それ以外の指標は指標値を上回る実績値となっている。
広報誌「めっけ」の発行や、テレビや雑誌等へのメディア露出が増えたこともあり、「とちぎ江戸料理」の認知度は向上していると感じており、引続きホームページや情報紙等の発行・イベントへ参加を行うとともに、新たなメニューの開発や参加店の拡大等平行して行い、本市への誘客促進を図っていく。

新規創業者数5年間で490人増
工業製品等出荷額5年間で50億円増

主要観光地及び観光施設観光客入込数5年後に年間380万人
外国人観光客宿泊者数5年間で1,600人増

平成30年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おけるKPI		
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値				
3	Tochigi Edo style 歌麿の愛したまち 「とちぎ」新たな魅力 創造計画 (H29～R元年度)	Tochigi-Edo style 歌麿の愛したまち 「とちぎ」新たな魅力 創造プロジェクト	蔵の街並みを活かしたタウンウエディングや喜多川 歌麿の浮世絵を活かした浮世絵刷り体験など、本市 の地域資源である江戸文化を五感で楽しめる事業を 展開することで、新たな魅力を創造するとともに、国 内外に情報発信し、交流人口の増加及び新たな人の 流れを創出する。	① 観光客入込数	350,000 人増	H30年度	364,449人増	達成状況及び今後の取組方針			
				② 外国人観光客宿泊者 数	100 人増	H30年度	991人増				
					275 人増	H29～R元	1673人増				
		活用交付金	平成30年度取組	③ UIJターン相談件数	50 件	H30年度	292件				
				120 件	H29～R元	498件					
地方創生 推進交付金	・外国人による歌麿道中や、関東近郊在住の外国人 を対象に、とちぎ秋まつり参加ツアーを開催した。 ・市内在住の夫婦をモデルに、蔵の街並みや歴史的 建造物を活用したウエディング写真の撮影を行った。 ・古い建物(古民家等)を活用した宿泊施設の事業化 について、関係者の意見を伺うため、「栃木市古民家 等活用事業懇談会」を開催した。 ・市内在住の外国人等を対象に、外国人向け観光ポ ランティア育成講座を開催した。	④					平成30年度は、全ての指標で目標値を上回る実績 値となった。デスティネーションキャンペーン等、本 事業以外の要因との相乗効果があったと考えられる。 令和元年度は、平成30年度に引き続き、「栃木市 古民家等活用事業懇談会」や外国人向け観光ポラン ティア育成講座を開催し、地域資源の新たな活用方 法の検討や情報発信に取り組む。 また、今後は、本事業により作成したPR動画の活 用などを通じて、地域資源を活用した地域活性化や 交流人口の増加に取り組む。	主要観光地及び観光 施設観光客入込数5 年後に年間380万人 外国人観光客宿泊者 数5年間で1,600人増 UIJターン相談件数5 年間で300件			
⑤											
4	【広域連携(県及 び県内全市町)】 ツール・ド・とちぎ を核とした地方創 生推進計画 (H29～R元年度)	【広域連携(県及 び県内全市町)】 ツール・ド・とちぎ を核とした地方創 生推進事業	国内初の取組となる県内全域を舞台とした国際 レース「ツール・ド・とちぎ」の継続的な開催を通じて、 県と県内全市町が連携した「自転車によるまちづく り」を進め、一層の観光誘客、地域活性化につなげて いく。	① 公営レンタサイクル 利用者数	1,096 人増	H30年度			—	達成状況及び今後の取組方針	
				② ツール・ド・とちぎ 公式HP閲覧回数	9.4 万回増	H30年度			—		
					28.4 万回増	H29～R元			—		
		活用交付金	平成30年度取組	③ 外国人宿泊者数	26 千人増	H30年度	—				
				93 千人増	H29～R元	—					
地方創生 推進交付金	栃木市では、市内の一部でレースを実施した。	④ 観光消費額	24 億円増	H30年度	—						
⑤			88 億円増	H29～R元	—	栃木市内では、市内の公道を使用してレースが開 催された。 国際レースということで注目度が高いことから、本 事業の実施により、自転車に対する機運醸成に大き く寄与するものと考えられる。 継続してレースを実施することで更なる認知度の向 上が見込まれることから、令和元年度まで引き続き 事業を実施していく。	【栃木県総合戦略】 観光消費額5年後に 5,150億円 外国人宿泊者数5年 後に27.4万人				

平成30年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おけるKPI
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値		
5	栃木市渡良瀬遊水地ハートランド活動拠点化計画 (H28～R2年度)	栃木市渡良瀬遊水地シンボル施設整備事業	渡良瀬遊水地に隣接する本市の施設を活用し、遊水地ガイドやその指導者の育成拠点となる研修設備を整備するとともに、ヨシ紙や筆管作成の技術を継承する人材育成・確保を行うために体験設備を整備する。また、遊水地に関する資料を豊富に有する(一財)渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と連携してガイド育成講座を実施し専門的な知識を備えた人材を育成する。	①	渡良瀬遊水地における観光消費額	15,790 千円増	H30年度	6,160千円増	達成状況及び今後の取組方針 これまで渡良瀬遊水地の魅力を伝えるボランティアガイドの育成を行い、現在52名の方が「渡良瀬遊水地ガイドクラブ」として活動している。平成30年度からは遊水地内での活動に加え、土日・祝日はシンボル施設においても常駐し案内等を行っている。 また、遊水地を代表するヨシを使ったヨシ細工の指導スタッフを育成し、現在9名のスタッフが各種イベントや学習会において参加者にミニヨシづくり等を指導するなど、ヨシの新たな利活用と普及活動を行っている。 また、新たなヨシ細工として、平成30年度よりヨシを材料とする「ヨシ灯り」を加えて、施設内でワークショップを開催するなどして、ヨシ細工づくり体験プログラムとして提供している。 平成30年度において館内展示物等の充実を図ることが出来たことから、令和元年度以降においては、これらの展示物等を有効に活用できるよう様々な取組みを実施していく。
						94,740 千円増	H28～R2	108,760千円減	
				②	渡良瀬遊水地の観光客入込数	10,000 人増	H30年度	3,901人増	
		③	ヨシを使った製品の開発数	3 個	H30年度	2個			
				10 個	H28～R2	2個			
	活用交付金	平成30年度取組							
	地方創生拠点整備交付金	平成30年4月のシンボル施設として供用を開始した時点においては、展示物等が不十分であったため、平成30年度において館内展示物等の充実を図る取組みを行った。	④						
			⑤						
6	栃木市子どもの居場所づくり拠点整備計画 (H29～R3年度)	栃木市子どもの居場所づくり拠点整備事業	「栃木市老人福祉センター 福寿園」を一部改修し、「要支援児童放課後応援事業」の実施拠点を整備し、要支援児童に対し生活習慣指導、簡単な学習指導等を行い、基本習慣を身に付けることで、健全な育成と自立を達成する。また、要支援児童と施設利用者間での交流を図るイベント等を開催し、多世代の交流を推進する。	①	要保護・要支援児童案件の終結数	2 件増	H30年度	37件増	達成状況及び今後の取組方針 要保護児童対策地域協議会の同意を得て、平成30年度には6人の児童を受入れ、1人週2日の利用を原則とし、基本習慣を習得させるため、生活習慣指導、簡単な学習指導、食事の提供等を行い、要保護・要支援児童案件の終結に繋げることができた。 要支援児童と老人福祉センター利用者間での交流の場を設けることはできなかったが、子どもの居場所に係る地域のボランティアとの交流はできた。 今後も、支援が必要な児童に対し、子どもの居場所において、健全な育成、自立に向け生活習慣等の支援を行っていくと共に、多世代交流についても推進していく。
						14 件増	H29～R3	37件増	
				②	当該施設年間利用料収入額	100 千円増	H30年度	0千円増	
				650 千円増	H29～R3	0千円増			
		③							
	活用交付金	平成30年度取組							
	地方創生拠点整備交付金	要支援児童の受入れを開始し、児童への生活習慣指導等を実施した。	④						
			⑤						

転入者数5年間で1,000人増
年間観光客入込数5年後に617万人

合計特殊出生率5年後に1.43(H25全国・県平均)

平成30年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おけるKPI	
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値			
7	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シ ンジャーマルシェ」 整備による産業活 性化計画 (H30～R4年度)	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シ ンジャーマルシェ」 整備事業	「蔵の街シンジャーマルシェ」を整備することにより、本市の各産業連携による相乗効果を発揮できる「市～マルシェ」を創設するとともに、市民や観光客の休憩スペース及びイベントスペースとして新たな活用を図る。また、小屋掛けや倉庫を設置し、周辺の景観にも配慮した整備を行うことで、本市の観光資源のブラッシュアップと新たな魅力創造の一助とする。	① 本事業による「蔵の街シンジャーマルシェ」 「各種イベント」稼働 日数	30 日増	H30年度	0日増	達成状況及び今後の取組方針	平成30年度に拠点整備を完了した。 平成31年度からは、農・商・工・観光等の事業者が連携し、市内の農産物や加工品、土産物等の販売・PR等を行う「蔵の街シンジャーマルシェ」をはじめとする地域産業の活性化を図るイベント等を実施することにより、新たな観光資源を創出し、交流人口の増加に努める。	合計特殊出生率5年 後に1.43(H25全国・ 県平均)
				② 市内事業所年間売上 額	5 百万円増	H30年度	0百万円増			
					43 百万円増	H30～R4	0百万円増			
				③ 観光消費額	150 円増	H30年度	0円増			
		活用交付金	平成30年度取組	750 円増	H30～R4	0円増				
		地方創生 拠点整備交付金	蔵の街観光の拠点となるとちぎ山車会館前広場の拡張及び小屋掛け設置を行い、シンジャーマルシェ等の実施拠点を整備した。	④						
		⑤								